



鷺流狂言を 映像で保存

二月十八日、鷺流狂言のカラービデオテープへの収録が行われました。
伝承者養成のための教材に―伝承者による正しい鷺流狂言を後世に―と山口鷺流狂言保存会が企画したもので、今年度二本目の撮影でした。
曲目は「清水」、小林栄治さん(53・公務員)の演ずる太郎

冠者と主人役の梶山亀久男さん(53・団体職員)の熱の入ったこっけいなかけあい、映像に収められました。
いま、鷺流狂言は、中学生二人を含む九人の伝承後継者が、毎週第二・四土曜日中央公民館で練習中です。こうして、山口に古くから伝わる狂言が、後世に伝えられていきます。

昭和53年度 固定資産台帳の縦覧

(期間) 3月1日～20日 (場所) 市役所課税課

法の規定で、納税者およびその家族、代理権を持つ人に課税台帳をおみせするものです。

固定資産税に不審のある人、不動産に移動のあった人などは、いい機会ですからよく確かめましょう。

53年度

あなたを守る市民交通

災害共済

家族ぐるみ加入しましょう

1人1口

■年額 480円

■受付 3月1日から

交通事故の被害者は、あとをたちません。万一の事故のとき、給付が受けられる市民交通災害に加入しましょう。

加入の受付は、市役所公害交通課、または各出張所で行っています。また、各町内にもとりまとめをお願いしています。

市営バスを守りましょう 再建の『カギ』は利用

二月三日、山口市自動車運送事業経営審議会は、審議の結果、国・県・市の援助と企業努力で、市営バス事業を再建すべきという答申をしました。

市営バスは、バス離れの傾向が続く中で、数次の合理化と運賃の値上げを続け、再建への道を歩んできました。

一方に経営好転の兆しが見出せず、一部には、存亡の危機とさえいわれ、依然苦しい経営が続いています。しかし、再建への「カギ」は、バスに乗ってもらうことで、バス事業の経営の実態を説明し、市民の皆さんの協力を求めるものです。

再建への道 厳しく…

山口市営バスは、昭和十八年の開始、以来今日まで、文字通り市民の足となつて、市内を走り続けてきました。

ところが、このバス事業は、昭和三十年代の最盛期をピークに、昭和四十年代に入って、自家用車の増加、交通渋滞のため「速く」「安く」「安全」というバス輸送の特性が薄れ、いわゆるバス離れがおき、下の表のように年々、乗客数が減少する傾向が続いています。

昭和三十九年以來、五次にわたつて、ワンマン化、不採算路線の整理など合理化をすすめ、



今日も走る市営バス

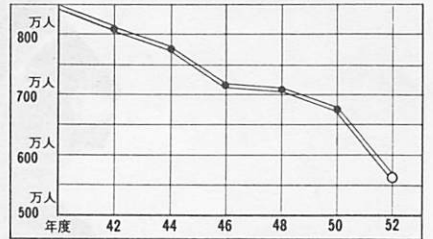
さらに数回の運賃の値上げで、再建へ努力してきたものの、五十一年度末で、累積赤字が五千六百余万円、不良債務が二千余万円にのぼっています。

なお、これは昭和四十一年以來、一般会計から約三億円、国県から約一億三千万円の補助金があつたからこそで、もし、これがなければ、市営バスは、廃止のやむなきに到つていたことでしょう。

22万1千円(百)の赤字
黒字線は、市内線だけ

現在、市営バスは、一日約六千は、九路線で走っています。ところが、五十一年度の営業収支でみると、一は走るに必要

輸送人員の推移



ドル箱路線といわれた小郡線も、昭和四十九年から赤字線になっていきます。

市民の協力で バスを守ろう

利用者は減少の一途をたどり経営費用は、増加する、こんな悪条件の中にバス事業は、たたきかれています。

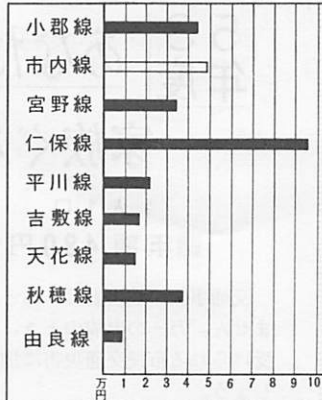
しかし、貸切りを含め一日六十余台のバスが、約六千は走り、約一万六千人の人が利用し、市民の足であることもまた、事実です。

でも再建への「カギ」は市営バスに乗ってもらうことです。バスの利用は、マイカーに比較し、エネルギーの節減、交通渋滞の解消、交通事故、排気ガスの減少などさまざまにメリットの面もあります。

そしてまた、バス経営の好転は、運行回数増加などサービスの向上に結びつくものです。

発足以來三十有余年、山口市民によって守られてきたバス事業を、市民の理解と協力で守っていきたいものです。

路線別1日の赤字(黒字)額



これを路線別に、一日当たりの収入と経費を対比してみますと黒字線は、市内線だけ、一番赤字の多いのは、仁保線一日九万七千余円、続いて小郡線四万四千余円、秋穂線、宮野線の順となつており、一日二十二万一千余円の赤字を出しながら、バスは、走り続けている結果となつています。

しかし、何と

の交通体系の政策の問題として考えるという認識にたつて、次のような具体的な方策を推進する必要があります。

極的に利用するなど、市の一般会計で適正な措置を行うこと。

■需要拡大への努力、貸切り事業の増収対策、車両修繕の外注化などを通じ、市営バス自体も、積極的に経営努力をすること。

援助 再建へ バス審議会答申

昨年七月、市長から「バス事業の方策」について、諮問を受けた山口市自動車運送事業経営審議会(会長大原茂樹 山口マツダ社長委員 九人)では、七回の審議を経て、二月三日、答申をしました。

答申は、バス事業が困難な状況になってはいるが、市民生活に欠くことのできないもので、経営改善に必要、努力の余地があり、県都

から、市営を廃止し、民間にすべきとの提議があつたことにも答申に強調されています。

なお、委員の一部

北部五出張所

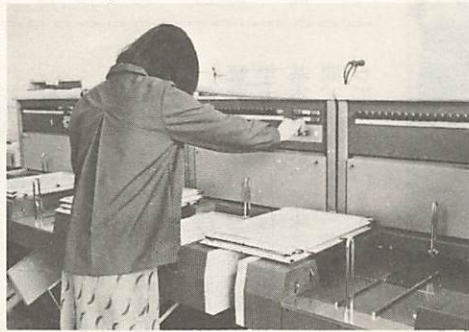
本庁出張所 電送装置が完成

大内、宮野、平川、大歳、吉敷の各出張所と本庁市民課を結ぶ電送装置が、近く完成、三月二十日から使用できます。

住民票、戸籍の謄抄本、印鑑証明書などが必要なき、出張所に向いて、申し込みをすれば、この電送装置で、申請交付を一件およそ十五分で処理するものです。

これで全出張所に電送装置が完備したことになり、戸籍の届け出、住民移動届け、住民票の交付など、本庁、出張所のどこでもできるようになります。

また、本庁市民課には、着信専用電話四七七七があります。住民票、印鑑証明書などの申請は、あらかじめ電話で申し込みをされまして作成して、指定された出張所まで電送しますので、待ち時間なしで受け取れます。



試運転中の電送装置（市民課）



— ぶきのとう —

3月は古くからヤヨイ（弥生）といわれています。これは春になって、芽ぶいた草木が、いよいよおい繁って育つという意味です。また、3月は卒業、進級、就職など最もたいせつな月です。反省とよりよい新出発の門出としたいものです。

— 3月のこよみ —

ひな祭り 3日 昔ながらの女の節句です。女の子の心身ともにすこやかに育つことを祈る行事として、ひな人形をかざり、草餅をついたりして祝います。桃の節句ともいわれますが、桃の花の咲くのはひと月ばかり後で、旧暦の3月3日頃となるでしょう。

耳の日 3日 3月3日の3と3をみみとよんで、この日を耳の日と決められました。春さきは耳の病気が多くなるといわれます。耳の病気は案外治療がおくれることがあります。特に子どもの耳は、親がいつも気をつけておきましょう。

春の彼岸 ことしは18日が彼岸の入り、21日が中日で春分の日です。暑さ寒さも彼岸までといわれるように、これからはあたたかくなるでしょう。春分の日には国民の祝日で、自然をたまたえ、生物をいつくしむ日とされています。この彼岸の7日間に諸寺では仏事を修し、説法などを行ない、家々でも彼岸餅をつき、仏に供養し、祖霊をまつて、寺参り、墓参りをします。

- 1日 公立高等学校卒業式
- 6日 皇后誕生日
- 7日 消防記念日
- 15日 所得税確定申告期限
- 31日 学校教育法公布記念日

市内定期観光バス 発車!

三月十日から

市営バスの市内定期観光バスが、三月十日から運行を開始します。十一月三十日まで、毎日、湯田温泉発午前八時五十分、午後一時五十分、山口駅発午前九時五分、午後二時五十分の二便、コースは、雪舟庵↓香山園↓五重の塔↓藩庁門↓サビエル記念聖堂を回るものです。

料金は、湯田温泉から大人八百五十円、学生八百二十円、子ども二百六十円、山口駅から大人七百二十円、学生六百九十円、子ども百九十円です。

なお、今年から十二月一日から二十五日までの日曜日の午前の便と、一月一日から三日まで午前の便を運行することになりました。

印鑑登録手帳

交換は三月三十一日まで

五十二年三月三十一日まで、印鑑登録をし、使用していた印鑑登録手帳は、昨年四月一日からカード式の登録証にかわりました。

その交換の期限は、今年三月三十一日までです。交換のまだの人は、印鑑登録をした本庁市民課または、各出張所で交換してください。

山口文化バス会員募集 4月に長府史跡探訪

近年、観光旅行がたいへん盛んになって、遠いところの観光地へ、物見遊山的に行く人がふえているようです。このような旅行は、つい人の波にうかれて、計画性に欠け、ただ面白く遊ぶということに終わってしまうがちです。しかし、旅行というものは、いつもそのように、物見遊山だけに終ってはいけません。

意味がありません。近頃、故郷みなおしぐというような言葉がよく使われていますが、自分の住んでいる所をよく知り、知ることによって、それを愛し、故郷に誇りを持つという人が多くなってきました。

山口文化バスではそのような人を対象として「山口文化バスの会」を結成しました。この会は、山口市営バスの協力を得て、主に県下の史跡、名勝、文化財を

探訪しようとするものです。今後、年に数回行うほか、年一回程度、一泊旅行も考えられています。説明はその都度、その事に詳しい人に依頼し、資料もできるだけ詳細なものをつくって、参加者に渡す予定です。

第一回は、次のとおり実施されますが、今後の計画は、

第一回の集まりのとき、皆さんの希望もきいて計画をたてることになってます。同好の人の多数の参加を、のぞんでいます。

要項
 第一回山口文化バス実施
 期日 四月二日（日曜日）
 雨天中止

見学地 下関市長府町
 募集人員 九十人
 コース 山口市民会館前（八時三十分出発）↓長府城下町↓長府博物館↓功山寺（昼食）↓覚苑寺↓乃木神社↓忌宮神社
 講師 内田 伸氏（郷土史家）

会費 大人二千円 小人千三百円
 昼食 各自持参のこと（近くに適當な食堂はありません）

申し込み期日 三月二十日まで、（満員になり次第しめ切り）

申し込み先 山口市葵二丁目、山口市交通局内文化バス事務局宛に葉書に住所、氏名を記入して申し込みのこと。電話での申し込みでもよい。電話山口②二五五

主催 山口文化バスの会（世話人代表 永久鉄哉）



今月のテーマ
生活に趣味を

一日四十分 女性は男性の半分

趣味―辞書によると、「興味をさそう状態、このみ、専門家としてではなく、楽しみ」とあります。

趣味は、健康を増進し、情緒を豊かにして、生活にハリを持たせてくれる人生のよき伴侶といわれます。趣味の時間を市民は一日どの位持ち、生活にどう生かし、公民館活動にどんな仲間がおられるかを紹介しましょう。



福祉センターのお年寄りたちの人形クラブで。思い思いの人形ができていき、みなさんの生活の楽しみになっています。

時間

人のこのみ、趣味といっても実に幅広いものです。音楽の観賞、園芸、読書、華道、茶道から、囲碁、パチンコ、麻雀の勝負ごと、また、スポーツまで含まれる場合が多い。

趣味の市民生活の実態を示す統計は少ないのですが、五十一年十月総理府が行った社会生活基本調査が、趣味に関する時間、種類などの一部を明らかにしてくれています。

この結果によると、趣味に娯楽、スポーツを含めると、一日山口市民が、趣味にあてる時間は、平均四十分という結果が得られています。

男性が一日平均趣味、娯楽四十分とスポーツ十二分であるのに対し、女性は、趣味、娯楽二十六分、スポーツ三分とまだまだ女性は、男性の半分程度しか

趣味・娯楽の時間があてていないのが実態のようです。

また、趣味の種類でみれば、趣味、娯楽のうちでは、ものを作ったり、舞踊、謡曲、華道といった創作的なものを主とする人が五十割程度、勝負ごとが二十割で、スポーツでは、団体球技が全体の三分の一、野外系スポーツが四分の一を占めています。

趣味などで行動を多くともにする人は、「ひとり」が四十分、家族が十六割、友人、知人十五割の順で、趣味は、個人や家族で楽しむ場合が多く、場所も自宅が四十五割と圧倒的に多くなっています。

楽しみ

毎週月曜日、午前十時前になると、福祉センターに、センター人形クラブのお年寄りたちが、いそいそと集まってきました。

四十九年に会員十二人で発足した人形をつくる同クラブ、現在は、四十人にふくれあがるほどの盛況ぶりです。

趣味は 気楽に、 気長く

「趣味は、気楽に気長く取り組むもの。もし、いやになったらやめ、やりたくなったらまた始める。これが趣味というものじゃないか」とは一会員の話。

「ただ、一つの趣味を二十年やったら、完全に自分のものになる。こんなことが、できる人はきっと健康で、生活にハリがあるでしょうよ」というのも、一会員の話です。



ほのかに 香りが漂う

大歳ウメ園

大歳朝田から馬庭・河内部落への道をのぼっていくと、あちこちに梅園が見えます。二月中・下旬になると、この梅園は、白色や淡紅の単弁の小さな花がいつせいに咲きます。



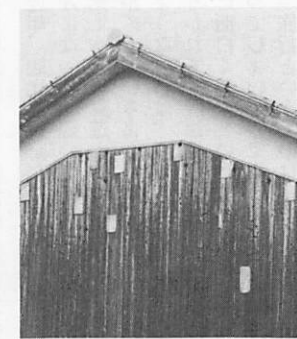
いに、芳香が漂います。現在、この浴には、約一畝の梅園があるというところで、これが三月中旬には、小さな実をつけ、五月下旬頃には、淡緑色の円形の、みるからに酸っぱい果実になって、ウメ酒や漬ウメに利用されます。



校舎をつつく キツツキ

四十八年の春から、二島中学校の教室の板壁にキツツキが、コツコツとくちばしで、

つつく音が聞え始め、いままでにあけた穴は、何と、二十三個にのぼります。



めつたに、キツツキの姿を見ることができませんが、人のいないときは、板壁をつつく音が、まるで機関銃のように聞えるそうです。

日本では、キツツキの仲間ちばしで木の幹や、枝をつつき、虫をとります。特に繁殖期には、枯木などをつついて高い音を出します。きつと、二島中の校舎に穴をあけたのも、繁殖期の行動でしょうが、つつかれる学校の校舎は、迷惑な話です。

心の安らぎの上に たつ趣味



国近満男先生

釣といった年を考えない趣味は、のぞましくない。

次に、土と日光という自然の中でする趣味—スポーツ、園芸などは概して健康的といえる。また、趣味は一人で楽しむのは、意味が少なく、人と人との

交流に意義が大きい。和、協調と、心のふれあいがあり、心の健康の意義が大きい。また、よくお年寄りにみられる、家中がうまくいかなく外にでて、勝負ごとなどに時間を費す、これは「逃避」であつて趣味ではない。そんなことから、趣味は、対家族、対他人、対社会に対する心の安らぎが基本で、そのうえに成り立つものが、心身ともに健康的な趣味といえる。

公民館の趣味グループ

健康

趣味と健康について、駅通り二丁目、医院をしておられる国近満男先生にうかがつてみました。以下先生の話。

仲間

最後に、各公民館の趣味のグループを紹介いたします。趣味は、一人でも楽しめるものですが、相手がないとできないものもあり、仲間がいるとまた格別です。

- 【仁保】 料理、詩吟、日踊、レコード鑑賞、編物、民謡、盆栽、短歌、生花、謡曲、卓球
- 【小鯖】 和裁、手芸、詩吟、謡曲、茶道、生花、料理、バレエボール、ソフトボール、バドミントン

- 【宮野】 読書、生花、詩吟、書道、日本画、謡曲、俳句、川柳、俳画、鉢物、紙人形、バレエボール、バドミントン、野球
- 【中央】 ギター、詩吟、刀剣、読書、生花、茶道、書道、歴史、油絵、エスプレント、詩、民謡、人形劇、フラワー、川柳、レクリエーション、随筆、

- 【陶】 俳句、川柳、謡曲、生花、習字、詩吟、園芸、卓球、ソフトボール、バレーボール、サッカー
- 【鑄銭司】 詩吟、俳画、手芸、生花、舞踊、読書、盆栽、庭園、バレーボール、ソフトボール
- 【名田島】 盆栽、詩吟、民踊、バレーボール、卓球
- 【秋穂二島】 菊、庭園、盆栽、民謡、文芸、俳画、ランニング、ソフトボール
- 【嘉川】 俳画、詩吟、書道、囲碁、陶芸、盆栽、菊、バレーボール
- 【佐山】 編物、詩吟、舞踊、民謡、習字、読書、バレーボール、ソフトボール、卓球

を育てよう

「緑」の効用は、言うに及びませんが、木材を生産するだけでなく、水源を養い土砂流出を防ぎ、空気をきれいに

し、保養休養の役目を果たしています。三月一日から四月十日まで、国土緑化推進運動が全国いっせいに展開されます。これは、緑を豊かに育て、守ろうというものです。山口は、「緑」に恵まれたところ。山や野も、最近緑が

豊かになりました。これも先人先輩の「緑」を育ててきた功績によるものです。山口市緑化推進協議会では、緑化樹の即売会、植樹、公共施設などに緑化樹の配布を計画しています。緑の育成は、短期日にはできません。植えておけば、

緑化推進運動

3月1日～4月10日

提言

市民も自らの手で...



一嘉川高見一 上田和男 商業

が住民として、こんな行財政の現状をみて、考えさせられます。住民福祉の向上ということ、は、ストップさせることはできない。しかし、市財政は、不如意ということを考えれば、

市民も、「自分たちのまちをよくするには、自分たちでできることはないか、そしてお互いの話し合いの中で自らの手で何かやろう。」こんな人が、こんな風が、もつとできて、いいんじゃないか

今、市も県も国も大変な財政難のようです。借金で、税金などの経常の収入を上回る支出を行っている現状です。



市境 秋穂二島の岩屋の鼻

今でも所々に石切り場があつて、ノミの音が聞えています。「秋穂じゃ竹島宝の島よ、地から生えたか浮き島か」と民謡にうたわれている竹島が、波おだやかな沖合に美しい姿を見せています。

二十一年目の 陶八雲川柳会

見栄を張り我儘娘がいきそびれ
お互いに我儘言える仲になり
我儘な父へ無言の香を焚き

我儘を言った息子に孫が出来
この川柳は、陶八雲川柳会の
昨年三月句会での「我儘」と題
する会員の作の一部です。

同会は、このほど五十二年
の句会の作品を集め、陶八雲川
柳会報六号を発刊しました。

A五版四十八頁の冊子の中
には、毎月の例会と宮崎などに
行した会員や句会に参加した
客人の川柳がぎっしり掲載され
ています。

川柳は、江戸時代の後期、俳
句から別れ、明治時代になって
川柳という名称が固定した五・
七・五の十七音律の文芸です。

軽妙な機知が、いっばいの文
芸で、県内では特にさかんで、
そのレベルも高いといわれてい
ます。

陶に川柳会が発足したのは、
昭和三十三年のこと。それまで
益田白雲さん(昭和四十年没)
宅で開いていた私的な川柳仲間
を解消、公民館の趣味の会とし
て発足しました。

会長は前記の益田さん、先生

現在、会員十六人、農業、自
転車屋、左官、美容院経営、和
服の仕立屋、僧侶など職業が、
さまざまなら、年令も最高六十
三歳から三十八歳まで幅広い。
「種々雑多の人間の集まり、共
通点はない。ただ、紙とエンピ
ツがあれば、楽しめる川柳文芸
あまり金持ちは、いませんね。」
とは、松永会長のお話です。

陶の地に 川柳文芸の根を下す



(昨年の忘年川柳会)

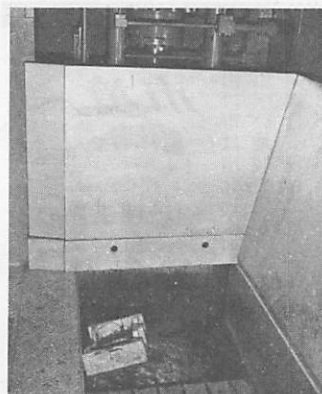
ズブの素人ばかりでした。
以来今日まで、毎月第二土曜
日の夜、公民館で例会を開き、
研さんを積んできました。
会長も益富さんから、重富正
平さん(63・糸根・農業)へ、
昨年から松永義雄さん(48・郷
上・僧侶)に変わったが、とに
かく根気よく続きました。

例会には、このほか萩や防府
から投句する人が五人位あって
二十人位の投句となる。
あらかじめ、題を出して、そ
れぞれが投句、選者に選んでも
らって、お互いに批評し合いな
がら、研究します。

昨年、日南海岸と萩に吟行
をした。今年は、四国へ親睦を
かねて吟行するという。
会員はいずれも機知に富み、
気心の知れた仲間同志、「家
をでてから、帰りつくまで、
会話自体が川柳じみて、笑い
の絶えない旅」ということ
です。

今年、この川柳会は、県
芸術祭参加県川柳大会を陶で引
き受ける。平均年令では、川柳
会では県下一若いという。大内
文化の表玄関の陶地区で、二
十年の歳月をかけて根をはって
きた陶八雲川柳会は、馬年にあ
やかかって、また
若駒のように飛
躍せんとしてい
ます。
発展を心から
祈ります。
最後に、会報
の中から、二、
三、秀作を紹介
します。

題 「厭」
厭だから厭だと言え左遷さ
れ
題 「石」
軽石にたよる明治の足の裏
たか女
題 「伴」
保護者会伴のとは手間かか
り
題 「それから」
穆堂
どうしてもそれから言えぬ義
理があり
みち
題 「運」
開運のみくじは枝で首を吊り
孤山



大きなゴミも、小
さく切りくだいてし
まう破砕機

大型の燃えるごみ 破砕機の利用を

山口県中部環境施設組合
(山口市・小郡町・秋穂町・
阿東町で構成)の大内清掃工
場に、腐材や畳、家具類とい
った大型の燃えるごみを細か
く切断する破砕機を設置して
います。
大型可燃物ごみの処分に利
用ください。

破砕機の使用料は、一般家
庭から出されるごみの場合
は、無料ですが、事業所から
出されるごみの場合、一トン
あたりの使用料は、千五百円
です。
なお、この破砕機の使用料
は、ごみの焼却手数料とは別
です。

また、自動車のタ
イヤなど公害のもと
になるものの破砕機
の利用はさけてくだ
さい。

消費問題の意見要望をきく 市消費生活モニター募集

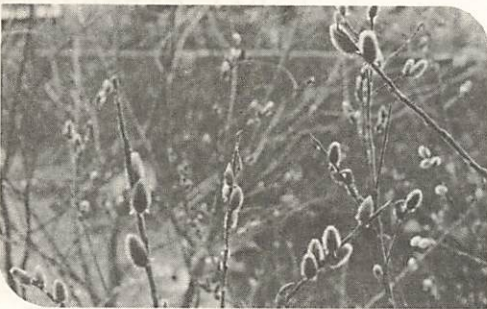
市消費生活モニタ
ーは、市がお願いする
調査や質問に応じたり
消費者行政の会議や研
修会に参加してもらう
ほか、消費生活の問題
点を経験したり、感じ
た場合、連絡していた
だくものです。
そして、モニターか
ら出された意見や苦情
は、市や関係機関で改
善をすすめるもので
す。
各種のモニターの経
験者を含め、将来消費
者グループづくりに取
り組もうという人や消
費者問題に関するある
人の応募をお願いしま
す。
。人員 三十人
。申し込み 市商工観
光課または、各出張
所備え付けの「申し
込み書」で、三月二
十八日までに、市商
工観光課へ。
。決定 三月末に本人
に直接通知。

(7)



▲伏して春を待つムギ

今年は、ムギ畑があちこちでみられます。寒さや雪で、地面に伏しているようなムギも、春と陽光と暖かさを待っているようです。(名田島)



▲春の到来を告げるネコヤナギ

一の坂川の川畔には、ネコヤナギが小さな卵形の花をつけていました。むちのような若い枝についた花は、水面の照り返しを受け、銀色に輝いていました。



カメラ君 “春”をさがして

暦の上では、春とはいえ、肌寒い二月中旬、カメラ君、自然の中に、春の息吹き、春を待つ心といったものを探して、市内を歩いてみました。春近く、ひっそりと息づく小さな春の姿をみつけました。



▲春を迎える準備一野焼き

秋穂二島で、野焼きに出会いました。土手やあぜの枯草を焼き、越冬害虫の駆除や草刈りをしやすくするための行事農村の春を迎える恒例行事です。

▼日だまりが恋しい

午後の暖い日、平川の住宅団地で、日だまりで遊ぶ親子に出会いました。吹きわたる風は、肌寒い日でしたが、日1日と春の陽気がつづいてくるようです。



▲水ぬるむ日待つメダカ 大歳の小川で、メダカの一瞬をみつけました。まだまだ、動きが鈍く、水ぬるむ日をジッと待つという表情でしたが、軽快に動く日ももう近いようです。



同和問題を考える

今の子どもたちに「他人の立場を理解し、他人を愛しよう」という豊かな心を持った人間に育ててほしい」と願うならば、現代の大人が、まず、家庭の中や社会において、そのような人間になる努力をしていく必要があります。親の生き方と子どもの人格形成は極めて密接な関係にあります。「子ども」のしつけは口によるべからず、目によらしむべし」ということばがあります。これは、親のしていることを子どもに目に見え、いつの間にか見よう見まねで子どもの言動になつていくということ、口でいくら「人間の尊さ」や「人を大切に」する態度を教えても、親の生き方の中にそれを納得させるものがないとだめだということなのです。

同和問題の解決を願って

あいうことはあつてはいけないことだ」というような傍観者の受けとめ方だけで、その域を出ない中途半端な理解に終ってしまっていることが多いのではないだろうか。就職に際して不当に差別が行われるとか、差別のために職場にいづらくなることがあるといったようなことは、その人の生きる権利にかかわる問題であり、他人ごととして放置できないことです。このような問題の解決を自らの課題として取りくむ姿勢が、子どもたちを託す願いを裏切ることになるのです。長年同和教育に取りくんでこられたある婦人は、「同和教育は不合理な部落差別をなくする教育である、と言われます。確かにその通りですが、それだけでは何か心もとない感じがします。というのは、そのことが、理解が深まっていない人々の間に短絡的に受けとられ、自分たちには関係ないこととして通り過ぎていくのではないのでしょうか。同和教育は、他人のための教育ではなく、自分の心の中にある差別・偏見をなくしていく教育であり、自分の心をかえ、真の人間性に目覚めるための自分自身のための教育ではないのでしょうか。」と訴えておられました。

大人であるわれわれが、まず社会生活の中で「人を大切にすること」を実践していかねばなりません。現状では、必ずしも人権尊重の考え方が貫かれているとは言えません。例えば、差別図書で明らかにした就職差別の問題にしても、「あれは同和地区の人々のおかれている問題で、あ

不燃物の収集日

出張所地区

- 3月 秋穂二島6日、平川14日、小鯖16日、大内17日、仁保22日、大歳23日、宮野28日、吉敷30日
4月 名田島1日、嘉川3日、佐山4日、陶・鑄銭司5日
4月から6月までの不燃物収集日は、3月15日号の市報でお知らせします。

「職業」一映写会

一県視聴覚センター

- 職業を改めて反省し、よりよい生活設計を考える映写会
日時 3月18日午後2時から
会場 山口図書館内県視聴覚センター
プログラム 朝やけの海、青年の山の若者たち、機動警察隊、安全作業への道、職業への道
入場料 無料

はかり一定期検査

はかりを商売や事業などで、証明用として使用する場合、毎年1回定期検査を受けなければなりません。
次の日程で、はかりの定期検査が行われますので、該当のはかりは、もれなく最寄りの場所で検査を受けてください。印かんと手数料が必要です。

Table with columns: 日 (Date), 時 (Time), 場 (Location), 所 (Area). Rows list inspection dates and locations for various districts like 鑄銭司, 二島, 佐山, etc.

引越し相談所一国鉄

国鉄では、春の引越しシーズンをひかえ、国鉄コンテナで、戸口から戸口まで運ぶ引越し相談所を設けています。相談、申し込みは、山口駅電2-0662へ。



不法な投棄をやめましょう... これ、だれのしわざか... 最近、市内各地で、空びん、空き缶、プラスチック容器などが、所かまわず、捨てられるのが目立ってきました。



これ、ごみ捨場？、いいえ、仁保川の河川敷です。

- 三月十二日に、市教育委員会と市体育協会の主催で、初の市民インディアカ大会を開きます。
日時 三月十二日午前十時から
会場 県立体育館
参加資格 中学生以上の男女で、市内に住んでいる人と市内に勤務する人
チーム編成 一チーム六人(正選手四人、補欠二人)
参加区分 男子・女子
試合方法 トーナメント法の

米飯提供業者の登録(更新)

米飯提供業者(飲食店、旅館など)は、県知事への登録が必要です。登録(更新)の受付を3月4日まで市役所市民課で行っていますので、まだの人は、早く手続きをして下さい。

私たちの献血

献血の標語を募集

3月9日までに、徳山市公園区山口放送(株)はたちの献血キャンペーン係へ。県・日本赤十字社県支部・県赤十字血液センターの主催。

山口高等学校通信制生徒募集

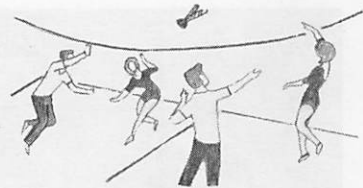
働きながら学び、高校を卒業しようという人、または、選科生として卒業に関係なく、任意の科目を学習しようとする人のための通信制の課程です。
募集科 普通科、衛生看護学科
入学資格 中学校卒業業者、または、これと同等以上の学力を有すると認められる人。衛生看護科は、文部省認定の准看護婦養成施設の生徒。
願書締切り 4月15日まで
くわしいことは、100円切手同封のうえ、糸米1丁目9-1山口高等学校通信制へ。

「花神」総集編の放映 NHK

昨年、NHKの大河ドラマとして放映された「花神」は、3月18日から4月1日までの金曜日・土曜日の午後7時30分から9時まで、3月18日は、9時30分まで、放送記念特集の一環として、同テレビで放映されます。

老人ホーム福寿園改築寄付金

岡崎茂三郎さん(朝倉町)20万円▷河村文子さん(後河原)5千円(10回目計6万80円)



初の市民インディアカ大会

一セット十五点の三セットマッチ
参加料 無料
申し込み 山口市教育委員会
体育課備え付けの所定の申し込み用紙に必要事項を記入して、三月六日までに同課へ。
なお、当日、初心者のため、ルール、試合方法などの講習会を会場で行きます。

無料法律相談

とき 三月十五日午後一時から。受付は、午後〇時三十分から三時まで。
ところ 中央公民館
市が隔月に一回開いているもので、土地売買、金銭貸借、相続など、法律上の問題について、弁護士さんが相談に応じるものです。どうぞ、気軽にご利用ください。

Table of medical services with columns: 3月の休日当番医 (On-duty doctor for March holidays), 外系 (Outpatient), 内科 (Internal Medicine), 外科 (Surgery). Lists hospitals and doctors like 柴田外科, 小川整形外科, etc.

診療時間は8時30分から17時30分 歯科は県口腔センター 吉敷下東(3・1820)へ。9時から15時